2004年、世界青年の 日メッセージ

来る4月4日に催される第19回、世界青年の日に向けて出された教皇様のメッセージの一部を紹介します。全文をご覧になりたい方は、日本語バチカン公式サイト、https://www.vaticanradio.org/japanese/japindex.htmlをご覧ください。

親愛なる若者の皆さん、イエスを見たい、イエスに出会いたいという望みは、すべての人々の心の中にあります。あなたたちの中に光そのものを見たい、真理の輝きを味わいたいとの願望がますます大きくなるために、イエスからの眼差しを妨げないで下さい。

あなたたちもこの御顔の美しさを観想したいですか。2004年度の「世界青年の日」にあたって、私が皆さんに向けたく思っている提案はこれです。あまり性急に答えを出さないで下さい。何よりもまず、皆さん一人ひとりのうちに沈黙の場を作って下

さい。時には、世の騒音や快楽への 誘いからかき消されがちな、神を見 たいという熱い望みを、心の奥底か ら湧き出させるままにして下さい。 この深い願望を溢れるままにしてご らんなさい。皆さんもきっと素晴ら しいイエスとの出会いを持つことが できるでしょう。

(・・・) ただイエスとの出会いだけが、あなたたちの人生に完全な意義をもたらすことができるのです。 (・・・) 神の探求から決して逸れてはなりません。一生懸命、神を捜し求め続けなさい。なぜなら、あなたちの自己実現と喜びは、これに懸かっているからです。

親愛なる友人の皆さん、もしもあなたたちが御聖体の秘蹟の中にイエスを見出すことを習うなら、皆さんの兄弟姉妹、特に最も貧しい人々の中にもイエスを見出すことができるでしょう。愛を持って受け、熱意を

持って礼拝される御聖体の秘蹟は、 愛の掟を実行するための自由と愛の 学舎となります。

友人に福音を伝えるという責任を感じてください!

1984年、贖いの聖年の最後を飾って 木の十字架が青年たちに捧げられ、 「それ以来、木の十字架は世界中の 国々を回り、世界青年の日を準備し てきました。今年は、あれから20年 に当たる記念の年です。その十字架 はベルリンに暖かく迎えられ、その 後ベルリンから出発してドイツの 町々を巡り、来年には第20回大会が 開かれるケルンに到着することにな るでしょう。

皆さんの同年輩の若者たちは、あなたたちがすでに出会ったお方、そして、あなたたち一人ひとりを生かしているお方、キリストの証人となることを期待しています。毎日の生活において、皆さんは死よりも強い愛

を力強く証しする人となってくださ い。この挑戦はあなたたちのもので す。皆さんの才能、その若々しい熱 意をキリストの善きおとずれを広め るために捧げて下さい。皆さんは主 を見たいというすべての人々、特に 主から最も遠いところにいる人々に 主を示す、イエスの熱心な友人と なってください。(・・・)神は人 間的な友情をも、神の愛の泉に人の 心を導くために利用されます。皆さ んの友人たち、また同年輩のすべて の人々の福音宣教に関する、あなた たち自身の責任について自覚してく ださい。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/ 2004nian-shi-jie-qing-nian-norimetsusezi/ (2025/11/21)